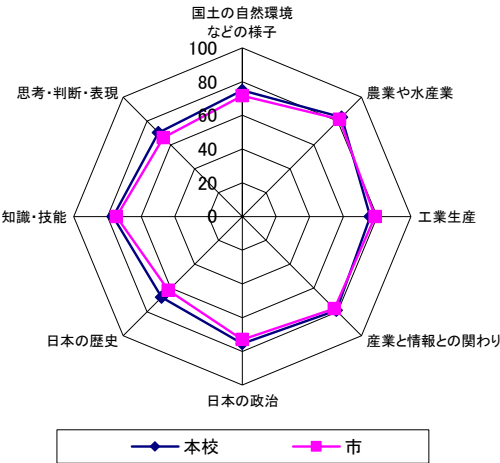


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	74.8	71.6	67.5
	農業や水産業	83.3	81.5	82.1
	工業生産	75.9	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	78.9	77.2	68.2
	日本の政治	75.4	73.1	77.9
	日本の歴史	67.8	62.0	65.8
観点別	知識・技能	76.7	74.6	74.5
	思考・判断・表現	70.3	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	市の平均正答率を上回っている。 ○資料をもとに森林の働きについての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を約9ポイント上回っている。 ●地図から日本の主な川の名称と位置を問う問題の正答率が市の正答率を下回っている。	・地図帳や白地図を活用する学習を取り入れることにより、地形の名称と位置の概要を視覚的に理解できるように指導していく。
農業や水産業	市の平均正答率を上回っている。 ○地図から都道府県の位置と農産物の産地を読み取る問題の正答率は、市の正答率を上回っている。 ●カントリーエレベーターについての理解を問う問題の正答率が市の正答率を下回っている。	・食料生産に関わる人々の生産性や品質向上のための工夫に目を向けられるような指導を行っていく。
工業生産	市の平均正答率を下回っている。 ○自動車の出荷の工夫について問う問題の正答率は、市の正答率を若干上回っている。 ●日本の輸出品について資料をもとに読み取る問題の正答率が市の正答率を下回っている。	・統計資料を正確に読み取れるように、各種グラフの特徴に合わせた読み取り方を指導していく。 ・資料を読み取った後で、友達と意見を交流し合うことにより、多面的な見方ができるように指導していく。
産業と情報との関わり	市の平均正答率を上回っている。 ●資料から、コンビニエンスストアの発注システムについて読み取る問題の正答率は、市の正答率を上回っているものの、約66%と低い。	・デジタル教科書の映像資料やNHKの教育番組などの視覚的資料を有効に活用しながら理解を深めていけるようにする。 ・産業での情報活用が国民生活の利便性を向上させていることを理解できるように指導する。
日本の政治	ほぼ市の平均正答率を上回っている。 ○三権分立の理解を問う問題の正答率は、市の正答率を上回っている。 ●日本国憲法についての理解を問う問題の正答率が市の正答率をやや下回っている。	・日本国憲法の基本的な考え方及び国民生活に果たす役割について、具体的な国民生活に関連させ理解できるように指導していく。
日本の歴史	市の平均正答率を上回っている。 ○大和朝廷についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を約19ポイント上回っている。 ●奈良時代の遣唐使が日本の文化に与えた影響についての理解を問う問題の正答率は市の正答率を上回っているが、4割程度と低い。	・関連資料の一つひとつを丁寧に指導しながら、学習の振り返りでポイントとなる重要語句を入れながら分かったことを記述する練習をしていく。 ・歴史的事象を取り扱う際に「世の中の様子」に着目させ、どのように変容・変化していったかを具体的に考えられるように指導していく。